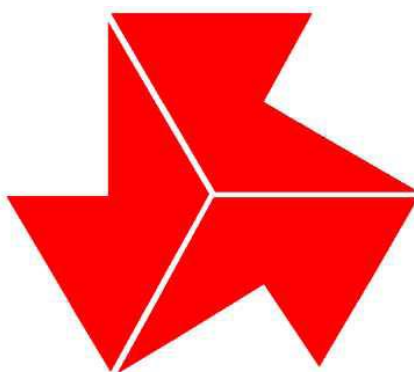


第49回全国高等学校選抜フェンシング大会 実施要項



主 催 (公社)日本フェンシング協会

共 催 (公財)全国高等学校体育連盟

後 援 スポーツ庁 長崎県 長崎県教育委員会
島原市 島原市教育委員会 (公財)長崎県スポーツ協会
長崎県高等学校体育連盟

特別後援 NCC長崎文化放送

主 管 (公財)全国高等学校体育連盟フェンシング専門部
長崎県高等学校体育連盟フェンシング専門部
長崎県フェンシング協会

1 期 日

- (1) 開 会 式 令和7年3月21日(金) 10時00分～
- (2) 競 技 令和7年3月21日(金)・22日(土)・23日(日)
- (3) 閉 会 式 令和7年3月23日(日) 15時00分～

2 会 場

島原復興アリーナ

〒855-0879 長崎県島原市平成町2番地1 TEL 0957-64-2344 FAX 0957-64-2455

3 競技種目

男子エペ・フルーレ・サーブル【学校対抗戦】

女子エペ・フルーレ・サーブル【学校対抗戦】

4 日 程

- (1) 技術委員会 令和7年3月20日(木) 15:00～ (HOTELシーサイド島原)
- (2) 全国委員会 令和7年3月21日(金) 9:00～ (がまだすドーム セミナー室)
- (3) 監督会議 令和7年3月21日(金) 9:20～ (がまだすドーム セミナー室)
- (4) 審判会議 令和7年3月21日(金) 10:00～ (島原復興アリーナ)
- (5) 開 会 式 令和7年3月21日(金) 10:00～ (島原復興アリーナ)
- (6) 競 技 令和7年3月21日(金)
 - 第1日 11:30～ エ ペ トーナメント1回戦～決勝
 - 令和7年3月22日(土)
 - 第2日 9:00～ フルーレ トーナメント1回戦～決勝
 - 令和7年3月23日(日)
 - 第3日 9:00～ サーブル トーナメント1回戦～決勝
- (7) 表彰・閉会式 令和7年3月23日(日) 全競技終了後

5 競技規則

- (1) 国際フェンシング連盟ルール・(公財)全国高等学校体育連盟フェンシング専門部規定による。
- (2) 用具検査
 - ア) 試合前に必ず用具の検査を受けること。
 - イ) 検査の要領については、「15 申し合わせ事項」の(3)を参照のこと。

6 競技方法

- (1) トーナメント方式とする。
- (2) 1チーム5名編成とし、試合は3名の総当たりで、リレー方式とする。
- (3) 男・女とも試合時間は3分間(実働)とする。

7 参加資格

- (1) 選手は学校教育法第1条に規定する高等学校(中等教育学校後期課程を含む)に在籍する生徒であること。
- (2) 都道府県高等学校体育連盟に加盟している1年生及び2年生で大会参加の資格を得た者。
- (3) 年齢は、平成18年4月2日以降に生まれた者とする。
但し出場は2回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。
- (4) 令和6年度に(公社)日本フェンシング協会に登録している個人及び(公財)全国高等学校体育連盟フェンシング専門部に加盟している学校。
- (5) チーム編成において全日制課程、定時制課程、通信制課程の生徒による混成は認めない。
- (6) 統廃合の対象となる学校については、当該校を含む合同チームによる大会参加を認める。
- (7) 転校後6ヶ月未満の者の参加は認めない(外国人留学生もこれに準ずる)。
但し、一家転住などやむを得ない場合は、各都道府県高等学校体育連盟会長の許可があればこの限りではない。
- (8) 出場する選手はあらかじめ健康診断を受け、在学する学校の校長の承認を必要とする。
- (9) 参加資格の特例
 - ア) 上記(1)(2)に定める生徒以外で(3)~(7)の大会参加資格を満たし、かつ在学する学校長が推薦する生徒を別途に定める規定に従い大会参加を認める。
 - イ) 上記(3)については、学年の区分を設けない課程に在籍する生徒の出場は2回限りとする。

[大会参加資格の別途に定める規定]

- 1 学校教育法第82条の2、83条の学校に在籍し、都道府県高等学校体育連盟の大会に参加を認められた生徒であること。
- 2 以下の条項を具備すること。
 - (1) 大会参加を認める条件
 - ア) (公財)全国高等学校体育連盟の目的及び永年にわたる活動を理解し、それを尊重すること。
 - イ) 参加を希望する専修学校及び各種学校にあっては、学齢、修業年限ともに高等学校と一致していること。また、連携校の生徒による混合は認めない。
 - ウ) 各学校にあっては、都道府県高等学校体育連盟の大会から出場が認められ、全国大会への出場条件が満たされていること。
 - エ) 各学校にあっては、部活動が教育活動の一環として、日常継続的に責任ある顧問教員の指導のもとに適切に行われており、活動時間が高等学校にくらべて著しく均衡を失っていない、運営が適切であること。
 - (2) 大会参加に際して守るべき条件
 - ア) 全国高等学校選抜フェンシング大会実施要項を遵守し、大会申し合わせ事項等に従うとともに、大会の円滑な運営に協力すること。
 - イ) 大会参加に際しては、責任ある教員が引率するとともに、万一の事故発生に備えて傷害保険に加入しておく等、万全の事故対策を講じておくこと。
 - ウ) 大会開催に要する経費については、応分の負担をすること。
 - (3) 外国人留学生等の出場規定
 - ア) 永住権を有する者は大会実施要項の規定人員までエントリーできる。
 - イ) 一定期間査証(ビザ)を取得し、卒業を目的に日本の高等学校に在籍する者は大会実施要項の規定人員のうち1名エントリーすることができる。
 - ウ) JOCエリートアカデミー事業に参加している生徒は大会開催要項の規定人員のうち1名エントリーすることができる。

8 引率・監督について

- (1) 引率責任者は、校長の認める当該校の職員とする。校長から引率を委嘱された「部活動指導員」(学校教育法施行規則第78条の2に示された者)も可とする。但し、当該都道府県高体連会長に事前に届け出ること。
- (2) 監督は校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険(スポーツ安全保険等)に必ず加入することを条件とする。
- (3) 監督は原則チーム1名とする。但し、同種目に男女が出場する場合は、それぞれ1名登録しなければならない。

9 参加制限

- (1) 各ブロック別に選抜されるフルーレ・エペ・サーブルの出場チーム数は、次のとおりとする。

ブロック別	北海道・東北	関東	北信越	東海	近畿	中国	四国	九州	開催地
各種目 出場チーム数	4	4	2	2	3	2	2	4	1

- (2) 各都道府県代表は、種目毎に1チームとする。
- (3) 開催地都道府県は、別に男・女とも、種目毎に1チーム加えることができる。
- (4) 1人2種目以内とする。但し、エペ・サーブルの2種目に参加する事はできない。

10 参加申込

- (1) 申込書類
 - ア) 申込用紙(「全国高体連フェンシング専門部ホームページ」からダウンロードすること)2部
(各々に押印すること)・データファイル
 - イ) 参加料振込領収書のコピー 1部
 - ウ) 部活動指導員証明書 2部
(所属学校長が証明するもので、外部指導者が引率責任者を兼ねる場合のみ下記アとイへ郵送。
様式は学校独自で良い)
- (2) 申込方法
 - ア) 参加申込書の1部は下記(4)ア)宛、1部を下記(4)イ)宛へ簡易書留郵便にて申し込むこと。
なお、監督が外部指導者の場合は、傷害・賠償責任保険(スポーツ安全保険等)加入証の写しを1部ずつ同封すること。データファイルは下記(4)ウ)へ添付して送信すること。
 - イ) 参加料振込領収証のコピーは下記(4)イ)宛に同封すること。
- (3) 各地区責任者は所定の用紙(「全国高体連フェンシング専門部ホームページ」からダウンロードすること)により地区推薦順位の1部を(4)ア)に郵送、(4)ウ)にデータファイルを添付して送信すること。
- (4) 申込先
 - ア) 〒862-8677 熊本市中央区大江6丁目1番33号 開新高等学校 内
(公財)全国高等学校体育連盟フェンシング専門部 和田 勝博 宛
TEL: 096-366-1201 FAX: 096-372-6052
 - イ) 〒854-0014 長崎県諫早市東小路町1-7 諫早高等学校 内
第49回全国高等学校選抜フェンシング大会実行委員会事務局 西 裕子 宛

問い合わせ先 諫早高校 定時制 笹田 健一
TEL: 0957-22-1555 FAX: 0957-22-5104
 - ウ) 大会実行委員会事務局メールアドレス: zenkokusenbatsu.shimabara@gmail.com
- (5) 申込期限
令和7年1月31日(金)必着

11 参加料

- (1) 1種目 45,000円
- (2) 振込方法
 - ア) 振込用紙で下記銀行口座に振り込み領収書のコピーを参加申込書と同時に送付のこと。
 - イ) 振込先
十八親和銀行 諫早支店
口座番号：普通預金 5013805
口座名義：全国高等学校選抜フェンシング大会実行委員会

12 表彰

- ・全種目優勝校に持ち回り優勝旗、レプリカ、賞状を授与する。
- ・フルーレ優勝校に持ち回り優勝盾を、準優勝校に持ち回り準優勝盾、レプリカ、賞状を授与する。
- ・エペ、サーブル優勝校に持ち回り優勝トロフィーを授与する。
- ・エペ、サーブル準優勝校にレプリカ、賞状を授与する。
- ・全種目3位校(2校)にレプリカ、賞状を授与する。(3位決定戦なし)

13 宿泊

- 宿泊は斡旋とし「宿泊要項」による。
宿舎～会場間の輸送については、公共交通機関を各自利用する。

14 組合せ

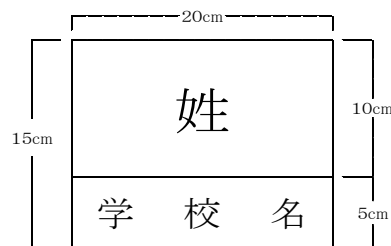
- (1) 期日：令和7年2月14日(金)・15日(土)
- (2) 会場：岡山シティホテル桑田町 別館
- (3) (公財)全国高等学校体育連盟フェンシング専門部規定により行う。

15 申し合わせ事項

- (1) 大会参加に関する事項
 - ア) 競技中の疾病、傷害などの応急処置は主催者側で行うが、その後の責任は負わない。
 - イ) 選手変更についてはエントリーした選手が怪我または病気等により大会に出場できなくなった場合、技術委員会の始まる48時間前までに学校長の承認を得て、診断書を添えて大会実行委員会事務局あてに専門部規程の様式により書面にて提出し承認を得ること。
 - ウ) 外部指導者の監督については複数校の監督を兼ねることはできない。
- (2) 競技に関する事項

規約規定集と合わせて以下の事項についても遵守すること。

 - ア) 選手は頭髪に注意し、試合に支障のないようにすること。
特に、頭髪がメタルジャケットの表面にかからないようにすること。
 - イ) ゼッケンを図のように作成し、各自後ろ足膝の上、外側に必ずつけること。姓を男子は黒字、女子は赤字でピスト係が判別できるよう(太さ1cm以上)に記入し、同一校に同姓の者がいる場合は識別できるまで名をつける。
 - ウ) ベンチの入場者は、当該種目監督および登録選手とする。
 - エ) 外履き・内履きの靴は、競技会場・練習会場とも必ず区別すること。サンダル等は許可しない。
 - オ) 練習中はマスクなしでのファイティング・レッスンを禁止する。
 - カ) 剣の曲がり直しは、備え付けの修正板の上で行うこと。また剣で床を突かないこと。



(3) 用具検査に関する事項

ア) 試合中の用具の破損は選手の責任とする。なお、予備の用具は必ず準備すること。

イ) 用具検査は次の要領にて行う。

(i) 事前検査対象はマスク・メタルジャケット・カフとする。その他は主審がピスト上で検査を行う。

(ii) 検査日時、検査項目、返却日時および用具・個数制限を次のようにする。

・日 程 令和7年3月21日(金)

開館～試合終了(即時返却) エペ

エペの試合開始～試合終了(即時返却) フルーレ

令和7年3月22日(土)

開館～試合終了(即時返却) フルーレ/サーブル

フルーレの試合開始～試合終了(即時返却) サーブル

令和7年3月23日(日)

開館～試合終了(即時返却) サーブル

※試合終了まで即日返却・それ以外は翌朝返却

・受付数(1チームにつき) [各校ごとにまとめて提出のこと]

マスク：5個以内 メタルジャケット：5枚以内 カフ：5個以内

・場 所 島原復興アリーナ 2階エントランス (2階席入口)

(4) プログラム配付について

無償配付は下記のとおりとする。

・出場チーム監督 1部

・出 場 チーム 1部

(5) 練習会場について

①島原復興アリーナ サブアリーナ (32.4m×20.2m 655㎡) ※審判器の使用不可

日 程 令和7年3月20日(木) 12:00～17:00

令和7年3月21日(金) 8:00～14:30 (エペ/フルーレ)

14:30～17:00 (フルーレ/サーブル)

令和7年3月22日(土) 8:00～17:00

令和7年3月23日(日) 8:00～試合終了まで

②島原市霊丘公園 体育館 (1,289㎡) ※審判器の使用可

日 程 令和7年3月21日(金) 9:00～17:00

令和7年3月22日(土) 9:00～17:00

試合会場及び練習会場のフロアを絶対に傷つけないこと。

剣を直すときは必ず、修正板の上で行うこと。